

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年2月13日
【四半期会計期間】	第67期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 古川 雅一
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 佐藤 貢
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成24年4月1日 至平成24年12月31日	自平成23年4月1日 至平成24年3月31日
売上高(千円)	5,990,491	6,167,294	7,932,702
経常利益(千円)	903,397	909,535	1,079,830
四半期(当期)純利益(千円)	435,552	549,328	553,609
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	395,523	569,601	548,416
純資産額(千円)	11,006,027	11,623,154	11,158,784
総資産額(千円)	15,144,770	15,527,386	15,320,655
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	42.85	54.06	54.47
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益(円)			
自己資本比率(%)	71.0	73.2	71.2

回次	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日	自平成24年10月1日 至平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益(円)	15.77	18.97

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要を背景とした公共投資や設備投資の増加など、景気は一部で持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題の長期化や新興国経済の減速などの影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは環境対応型塗料や高機能性塗料の充実をはかり、新規顧客の開拓に向けた積極的な営業活動を展開するとともに、生産体制の見直しを行うなど、より一層の経営の効率化に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、61億67百万円（前年同四半期比3.0%増加）となりました。また、利益面につきましては、営業利益は7億63百万円（前年同四半期比6.2%増加）、経常利益は9億10百万円（前年同四半期比0.7%増加）となり、四半期純利益は5億49百万円（前年同四半期比26.1%増加）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

塗料事業

売上高は60億93百万円（前年同四半期比3.1%増加）、営業利益は7億39百万円（前年同四半期比6.7%増加）であります。

その他

売上高は75百万円（前年同四半期比4.7%減少）、営業利益は24百万円（前年同四半期比8.1%減少）であります。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の財政状況は、前連結会計年度末と比較して、資産は2億7百万円増加、負債は2億58百万円減少、純資産は4億64百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、有価証券8億60百万円、受取手形及び売掛金1億円、減少の主なものは長期預金4億円、現金及び預金3億91百万円であります。

負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金1億26百万円、減少の主なものは未払法人税等1億91百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金4億48百万円となっております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億13百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (平成25年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	大阪証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日		12,000,000		1,290,400		1,209,925

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,757,000	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 170,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,958,000	9,958	-
単元未満株式	普通株式 115,000	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	9,958	-

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が74株含まれております。

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	1,757,000		1,757,000	14.64
(相互保有株式) イサム土地建物株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目 15番24号	170,000		170,000	1.41
計	-	1,927,000		1,927,000	16.05

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,323,007	3,932,483
受取手形及び売掛金	2,603,941	2,704,320
有価証券	650,701	1,510,701
商品及び製品	852,446	948,167
仕掛品	80,441	122,649
原材料及び貯蔵品	189,484	210,213
繰延税金資産	88,801	65,869
その他	33,570	80,343
貸倒引当金	24,493	24,110
流動資産合計	8,797,898	9,550,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,409,927	2,410,205
減価償却累計額	1,196,865	1,249,613
建物及び構築物(純額)	1,213,062	1,160,592
機械及び装置	375,107	356,029
減価償却累計額	306,310	296,869
機械及び装置(純額)	68,797	59,160
工具、器具及び備品	358,978	352,387
減価償却累計額	328,160	328,180
工具、器具及び備品(純額)	30,818	24,207
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	17,047	13,462
減価償却累計額	14,849	12,462
リース資産(純額)	2,198	1,000
有形固定資産合計	2,659,342	2,589,426
無形固定資産		
ソフトウェア	109,282	89,490
施設利用権	6,790	6,099
電話加入権	6,310	6,310
リース資産	148,007	113,339
無形固定資産合計	270,389	215,238
投資その他の資産		
投資有価証券	1,566,847	1,538,228
長期貸付金	168	84
長期預金	1,100,000	700,000
保険積立金	717,430	736,527
繰延税金資産	186,660	176,168
その他	24,115	23,274
貸倒引当金	2,194	2,194
投資その他の資産合計	3,593,026	3,172,087
固定資産合計	6,522,757	5,976,751
資産合計	15,320,655	15,527,386

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,715,609	1,841,182
1年内返済予定の長期借入金	52,000	52,000
リース債務	50,252	49,654
未払金	280,740	212,745
未払法人税等	300,086	108,836
未払消費税等	16,957	29,962
前受金	4,359	4,425
預り金	70,440	91,052
賞与引当金	108,647	33,470
その他	39,666	30,703
流動負債合計	2,638,756	2,454,029
固定負債		
長期借入金	449,000	410,000
長期預り保証金	248,942	249,285
リース債務	107,669	70,560
退職給付引当金	500,699	493,618
役員退職慰労引当金	85,220	101,469
修繕引当金	30,000	35,625
負ののれん	75,219	66,540
金利スワップ	26,366	23,106
固定負債合計	1,523,115	1,450,203
負債合計	4,161,871	3,904,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,209,925	1,209,925
利益剰余金	9,099,637	9,547,375
自己株式	709,199	710,381
株主資本合計	10,890,763	11,337,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,412	48,886
繰延ヘッジ損益	16,592	14,541
その他の包括利益累計額合計	19,820	34,345
少数株主持分	248,201	251,490
純資産合計	11,158,784	11,623,154
負債純資産合計	15,320,655	15,527,386

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	5,990,491	6,167,294
売上原価	3,808,024	3,905,718
売上総利益	2,182,467	2,261,576
販売費及び一般管理費	1,463,400	1,498,203
営業利益	719,067	763,373
営業外収益		
受取利息	5,880	4,327
有価証券利息	15,750	8,991
受取配当金	8,304	8,318
受取賃貸料	41,103	42,200
塗装情報サービス会費	70,640	70,599
生命保険満期差益	16,979	3,921
負ののれん償却額	8,679	8,679
貸倒引当金戻入額	9,707	382
その他	21,107	13,281
営業外収益合計	198,149	160,698
営業外費用		
支払利息	13,588	12,210
支払補償費	-	1,975
その他	231	351
営業外費用合計	13,819	14,536
経常利益	903,397	909,535
特別損失		
固定資産除却損	-	1,255
災害による損失	9,859	-
特別損失合計	9,859	1,255
税金等調整前四半期純利益	893,538	908,280
法人税、住民税及び事業税	365,506	327,673
法人税等調整額	90,575	25,531
法人税等合計	456,081	353,204
少数株主損益調整前四半期純利益	437,457	555,076
少数株主利益	1,905	5,748
四半期純利益	435,552	549,328

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	437,457	555,076
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,115	12,474
繰延ヘッジ損益	1,181	2,051
その他の包括利益合計	41,934	14,525
四半期包括利益	395,523	569,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	393,064	562,795
少数株主に係る四半期包括利益	2,459	6,806

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	194,414千円	177,291千円
支払手形	- 千円	342千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費も含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	130,342千円	133,751千円
負ののれん償却額	8,679千円	8,679千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,236	5	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	51,229	5	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	51,226	5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月12日 取締役会	普通株式	51,215	5	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	5,912,222	78,269	5,990,491	-	5,990,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	5,912,222	78,269	5,990,491	-	5,990,491
セグメント利益	692,924	26,143	719,067	-	719,067

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント	その他 (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円)
	塗料事業 (千円)				
売上高					
外部顧客への売上高	6,092,723	74,571	6,167,294	-	6,167,294
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,092,723	74,571	6,167,294	-	6,167,294
セグメント利益	739,354	24,019	763,373	-	763,373

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	42.85円	54.06円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	435,552	549,328
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	435,552	549,328
普通株式の期中平均株式数(株)	10,164,121	10,161,250

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第67期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）中間配当については、平成24年11月12日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

中間配当による配当金の総額.....51,215千円
1株当たりの金額.....5円
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成24年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月5日

イサム塗料株式会社
取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 田中 伸郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 加賀谷 剛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は四半期報告書提出会社が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。